



No. 72 2009.11.

オガクズを培地とした ウルの鉢栽培

はじめに

近年、多くの山菜の中で「ウルイ」は、「タラノメ」に次ぐ山菜として注目されています。そこで、畑で株を養成し掘り上げてふかし栽培する従来の栽培法に比べ、効率的かつ軽労働で栽培できる鉢栽培技術を開発しましたので、その内容をご紹介します。

技術のポイント

<ふかし元株の養成方法>

品種・・・「オハツキギボウシ」(ふかし芽の形状がよい)

元株の準備

- ・ 3月下旬までに元株を1芽に分割し、5号(15cm)～6号(18cm)鉢にオガクズを培地として植えます。
- ・ 肥料は被覆肥料180日タイプ(15～20g/1鉢)を培地の上部1/3程度に混ぜ込みます。

管理方法

- ・ 鉢の管理場所・・・ハウス内または屋外遮光ができるように棚等の上に置きます。
- ・ 灌水方法・・・タイマー等利用による自動灌水が省力的。
- ・ 遮光・・・50%程度の遮光を梅雨明けから9月頃まで実施。



<ふかし促成栽培技術>

温度と時期

- ・ 養成したふかし用の株を用います。
- ・ ふかし栽培の時期は、1月以降(低温遭遇後(8℃以下、900時間以上))に行います。
- ・ 温度は20～25℃で管理します。
- ・ ふせ込み開始から約25日前後(積算温度が560℃前後)で、収穫できます。

(写真：廃材等を利用して作成した「ふかし施設」でのふかし栽培の様子)



<収穫が終わった株の再利用と新しい荷姿>

収穫後の株を分割(1芽程度)後、オガクズ培地で1年間養成すれば、収穫は若干低下しますが再度ふかし栽培が可能です。



新しい荷姿

- ・ 葉が展開前の新しい荷姿(小型半緑化ウルイ)では、ふせ込み開始から約20日前後(積算温度が430～500℃)で収穫可能となります。

問い合わせ先

徳島県立農林水産総合技術支援センター

農業研究所

中山間担当

TEL (0883) 72-0689

FAX (0883) 72-6868

<http://www.green.pref.tokushima.jp/nogyo>